

## ロボットのトークが変わる「ZTalk Editor」のご提供について ～ご要望が多かった音声ガイダンス充実化ツール～

ロボットメーカーの株式会社 ZMP(東京都文京区、代表取締役社長:谷口 恒、以下 ZMP)は、ZMP 製ロボットのトーク(音声)を変更できる「ZTalk® Editor」(ゼットーク エディター)の提供を開始します。「ZTalk Editor」を活用することで、より一層ご利用現場に適応した音声ガイダンスが実現できます。



「ZTalk Editor」を使うとロボットのトークが変わります

### 【「ZTalk Editor」で実現できること】

「ZTalk Editor」を使用することで、ロボットの運行サービス運営者様は、ロボットの動作に合わせて、ロボットのトーク内容を変更することができます。

運行サービス運営者様は、ロボットの動作リスト(出発、充電、到着、歩行者の認識など多数)に対して、独自の音声ファイルを割り当て、自動再生させることができます。

当機能はこれまで大変ご要望の多かった機能で、さまざまなロボット運行の演出が可能になります。

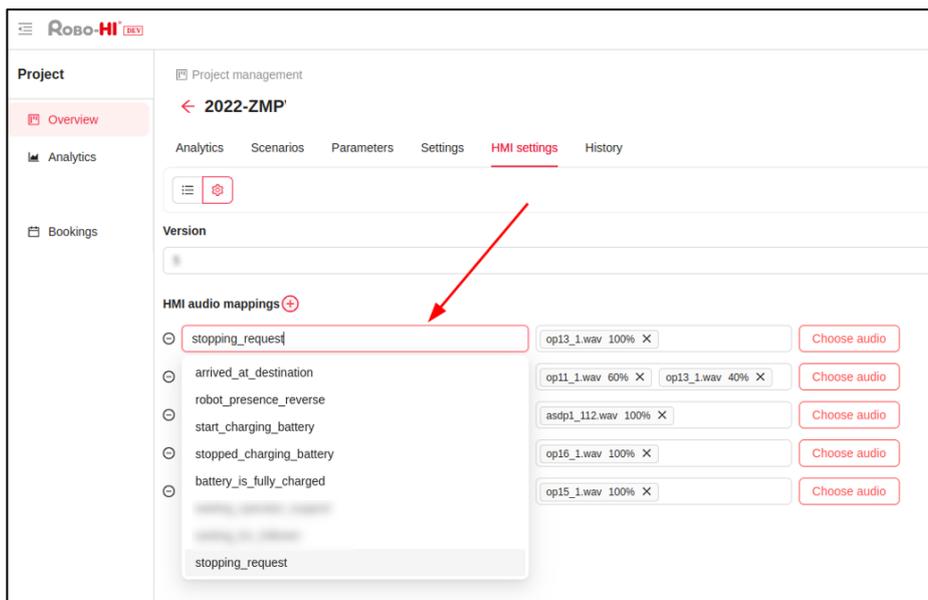


「ZTalk Editor」が対応する ZMP 製ロボット

### 【音声ファイルを用意してアップロード】

「ZTalk Editor」の使い方はシンプルです。音声ファイル(.wav 形式)をご用意いただき、クラウド型マルチロボ OS『ROBO-HI®(ロボハイ®)』上にアップロードします。そして、再生シーンと再生ファイルを設定することで動作します。

例えば、方言を話させることも可能です。「おおきに!」「おいでやす!」「好いとうよ」「すっじゃ」など、地域ごとの特色のある言葉を使用できるようになります。



「ZTalk Editor」は、ROBO-HI（ロボハイ）上で音声ファイルを選択可能にします

### 【同じ動作に対して複数の音声を関連付け可能】

同じ動作に対して、複数の言葉を設定することができます。例えば、「歩行者を認識した」ときの動作シーンに対し、「こんにちは」を 50%、「いらっしゃいませ」を 30%、「ありがとうございます」を 20%の出現確率で発声するような設定も可能です。割合(%)も可変できます。

### 【本件に関するお問い合わせ】

本機能「ZTalk Editor」は、オプションサービスです。別途ご利用料金が発生いたします。詳しくは、下記よりお問い合わせください。

株式会社 ZMP ロボタウンビジネス部

お問い合わせ WEB フォーム

[https://www.zmp.co.jp/contact/other\\_contact](https://www.zmp.co.jp/contact/other_contact)

### 【株式会社 ZMP】

弊社は、『楽しく便利な社会を創る』というミッションのもと、自動運転車両『RoboCar®』シリーズ、生活を豊かにする歩行速ロボ『RakuRo®』、『DeliRo®』、『PATORO®』、それらを管理するロボットプラットフォーム『ROBO-HI®』と自動化のコアエンジン『IZAC®』など、ロボット・自動運転技術をコアとする製品・サービスを提供しています。

本社：東京都文京区小石川五丁目 41 番 10 号 住友不動産小石川ビル

代表取締役社長：谷口 恒

HP: <https://www.zmp.co.jp/> Twitter: [https://twitter.com/zmp\\_official](https://twitter.com/zmp_official)